

真の地域活性化グループ基本方針

担当副理事長 吉原 政秀

いつの時代も、新しい時代の扉を開けたのは私たちと同じ青年の情熱と行動でした。近年、子どもの遊び方が変わり、技能、コミュニケーション、問題解決、心の強さといった成長に必要な学びの場が少なくなってきました。また、地域コミュニティが希薄になり、大人も子どもも含めた地域の人たちの間で、道徳や規範を共有する機会が減ってきています。一方で、地域間競争が増し、地方都市の独自性が問われる時代において、地域活性化は大命題となっています。子どもとまちの未来のために、変革の能動者であるJCは火付け役として、まだ地域に存在していない新しい運動を、創造し続けなければなりません。

何かを達成しようという目的が子どもにあれば、その目的に合った人数が集まり、必然的にコミュニケーションが生まれ、様々な要素が養われていきます。動機付けを十分に行い、体験活動を通して生きる力のある子どもに導くと共に、一見困難なことをやり遂げ、達成感を得ることによって、挑戦し諦めない心を育みます。また、家庭や学校での教育を基盤としながら、地域で携わり育むことが、あるべき教育の姿ではないでしょうか。地域の子どもでも我が子のように愛情を注ぎ、真っ向から向き合うことが大切です。一方で、魅力的なまちづくりのためには、他がやらないこの地域ならではの、を強化していき、都城ブランドを構築しなければなりません。私たちが地域のオピニオンリーダーになるべく率先して学び、コンセプトと熱意で他団体・行政・地域住民へ共感の輪を広げながら、ひと・まち・歴史という地域資源を最大限に磨き上げ、新しい価値を創造し、強く発信していきます。そして、今まで立ち上げていただいた素晴らしい事業に敬意を払いつつ、更なる一歩を踏み出すために、まだ見ぬ運動に挑戦し、地域の発展に取り組んでいきます。

愛する都城のために力を合わせ、勇気をもって挑戦への扉を開いていきましょう。自分自身の背伸びを意識することが、確かな自分づくりへと繋がり、周囲へ還元されると共に、その志をもった私たちの運動が真に地域を輝かせ、笑顔があふれる未来を創っていきます。